

慶應義塾大学大学院経済学研究科と東京工業大学大学院社会理工学研究科 のジョイントディグリーについて

慶應義塾大学大学院経済学研究科および東京工業大学大学院社会理工学研究科双方の専門に関心をもつ両大学院の修士課程学生を対象に、ジョイントディグリー制度が設けられています。これにより、修士(経済学)(慶應義塾大学)および修士(理学・工学・学術)(東京工業大学)の2つの修士学位を3年間で取得することができるようになります。

※ ジョイントディグリー制度 : ある分野で学位を授与された後に別の分野で教育を受け学位を授与されるように、一定期間において複数学位を取得できる履修形態を指します。

※※ 以下、最初の修士学位を取得する研究科を「第1研究科」、二つ目の修士学位を取得する研究科を「第2研究科」と呼びます。

1. 概要

第1研究科の修士課程第2学年在学時に、第1研究科にて定められたジョイントディグリー希望者向けの所定のコース科目を履修したうえで、第2研究科のジョイントディグリー取得者向け入学試験に出願します。その際には第1研究科委員長の推薦状を第2研究科に提出する必要があります。合格した場合には、予め定められた方法によって取得しておいた第2研究科設置科目の単位認定を受けられるようにするとともに、第1研究科において履修・合格したその他の単位についても、一定単位数を、第2研究科を修了するための単位として認定を受けることができます。第2研究科入学後は、第2研究科の修了要件ののっとり履修し第2研究科の修士学位取得を目指します。

2. 各研究科の修了要件

ジョイントディグリー制度が適用される学生であっても、以下の各修了要件の変更は行いません。

	慶應義塾大学経済学研究科	東京工業大学大学院社会理工学研究科
修了要件	30 単位	30 単位
その他要件	以下の要件を充足 ・専攻科目:10 単位以上 ・演習科目:8 単位以上	・16 単位以上は所属する専攻の授業科目から修得。 ・4 単位以上は他の専攻又は研究科の授業科目、大学院国際コミュニケーション科目及び大学院総合科目の中から修得。

3. 入学試験

双方の研究科は、ジョイントディグリー取得希望者向けに一般入試とは別に入学試験を設定します。この入学試験に応募できる学生は、第1研究科第2学年在学者とし、当該年度末に第1研究科を修了見込みで第2研究科でのジョイントディグリー取得を希望し、かつ第1研究科にて定められたジョイントディグリー希望者向けの所定のコース科目を履修・合格している必要があります。入学試験は、双方の研究科における一般入試と並行して行い、面接試験(第2次試験)のみによって実施します。入学試験の実施時期は、慶應義塾大学大学院は第1研究科修了年度の年度末(2月ないし3月)、東京工業大学大学院は第1研究科修了年度の7月を予定していますが、あらかじめ希望指導教員・教官と相談したうえで出願して下さい。

なお、一方の研究科を修了後、一定の期間を空けた後にこの入試制度により出願することは認めません。

4. 問い合わせ先

慶應義塾大学 学生部 経済学研究科係(03-5427-1556)

以上